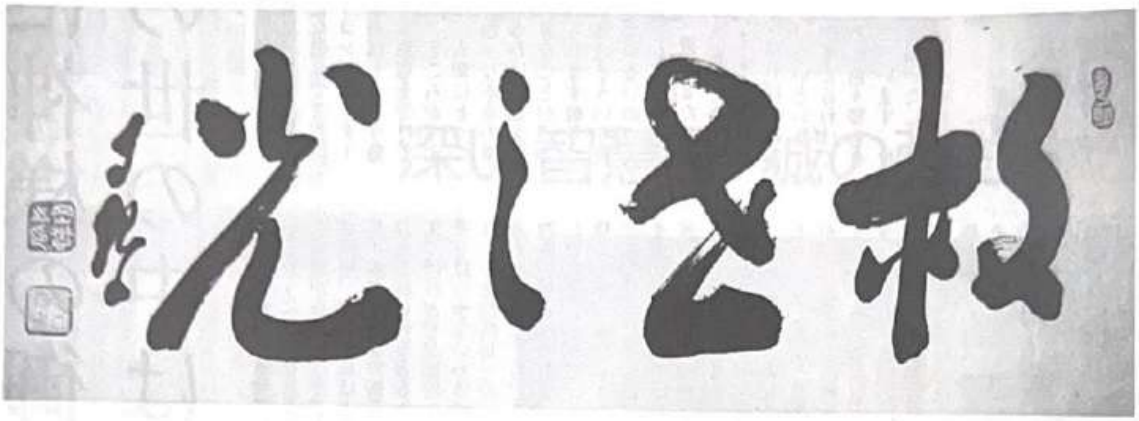
魂を目覚めさせ高めていく



明主様御真筆 救世之光

黎明

発行所
京都市左京区
吉田神楽岡町3
世界救世教黎明教会
郵便番号606-8311
電話075(771)2022番

各面の内容

1～2面 初代会長先生 御教えの研鑽
3面 女性の会勉強会
3面 前期青年勉強会
4～5面 講義ノート 寺岡直美様
6～7面 お蔭ご奉告 小林光恵様
7面 お蔭ご奉告 坂井倫子様
8面 お蔭ご奉告 中村陽葉様
8面 れいめい俳壇

明主様の御教え

文化の創造

本教の名は、救世教となっているが、勿論最後の世の救の為に現われたのであるから名実共に間違ってはいないが、一名創造教と言ってもいい、それを説明してみよう。抑々現在迄何十世紀に亘って、人類は文化を進歩発展させようとして、営々撓まず、屈せず、総力を尽して今日に到った事である。為に現在見るが如き驚くべき絢爛たる文化を作り上げたのであるから其功績は称えても称え尽せない程である。それは勿論人類の幸福を理想として来た事は言うまでもないが、事実は余りにも予期に反した事であるというのは彼の原子核破壊の発見である。一瞬にして何百万の生霊を奪い去るというのであるから、恐怖戦慄などの言葉でも、まだ言い足りない程のものである。

恐らく、幸福を目標として来た夢が想像もつかない程裏切られて了った事である。斯んな大不幸が生れようなどとは、誰か予測し得たであろう、恐らく人類史上、之れ程意外な喰違いがあったであろうか、是に於て人類少なくとも文化人は、此事の真因を徹底的に突止めなくてはならない、其真因を知って解決しない内は、今後の文化の進歩は何等意味をなさない事になろう。然し乍ら原爆と雖も、戦争の兵器に使用するから、恐るべき悪鬼となるが、そうでないとすれば、素晴しい平和の天使となるのは勿論である。

此理によって、実は原爆を問題視するには当らない訳だ。問題は戦争そのものにあるので何といっても戦争絶滅より以上、重大問題は絶対あり得ないのである。とは言うものの幾千年前から戦争の脅威から免れようとして、全人類は如何に最大限の努力を払って来たかで之は何人も知り過ぎる程知る処である、にも拘わらず、戦争の脅威は依然たるばかりか、寧ろ回を重ぬる毎に反って増大しつつある事実である。勿論人口増加の為もあろうが、兵器の進歩はそれ以上の脅威を加えている、遂に其極限的に現われたのが原爆であってみれば、此発見こそ最早人類から戦争に終止符を打つべき運命が近づいた事の示唆でなくて何であろう。キリストの日われた、最後の世とは此事であると私は信ずるのである。

斯う考えてくると、既成文化なるものは成功ともいえるが、其成功を抹殺する程の大失敗も認めない訳には行くまい、之によって之をみれば、以上述べた如き既成文化失敗に目醒めて然る後画期的新文化の創造に乗り出すべきが本当であろう、いわば文化の再出発である、然らば右の新文化の創造とは何か、之が現人類の一大課題である。

それに応えるべく、顕現されたのが本教である事を信ずるのである、されば此重任を引提げ、茲に我が救世教は地上天国建設の大偉業を神命のまま遂行せんとするのである、先ず其基本的条件として、人類から病いを除去する事を宣言し、実行し現に素晴しい成果を挙げつつあるにみて、多くをいう必要はあるまい、言う迄もなく、戦争の真の原因は病気である、病気といっても肉体の病気のみではない、精神の病気である。それは狂っていない精神病者である、人類からこの狂わない精神病者を健全に導く事こそ根本的解決策であろう。之以外戦争絶滅などは痴人の戯言にすぎない事を信ずるのである。

（栄六九）

本当の意味の文化とは

初代会長 多田 光行

文化ということに対して、世間では皆さんがそれぞれ色々な考え方をしておられるわけでございます。今の世の中は大変文化が進歩したとよく言われるわけでございますけれども、神様の理想としておられる地上天国と、今現在、世の中の人々が考えている文化との間には、大変大きな開きがあると思うのでございます。そこで、本当の意味の文化というのはどういうものか、これから私共が築き上げていかなければいけない地上天国という世界はどういう世界かということをもう一度ご一緒に考えさせていただきたいと思うわけでございます。それで、今日は『**文化の創造**』という表題のもとにお説き頂きました御教えを、ご一緒に拝読させていただきたいと思います。

現在の世の中が大変文化が進歩したということが、今まで盛んに言われているわけでございますし、実際に大変進歩してきているわけでございます。

文化が進歩した反面 色々な不幸の原因も たくさんできている

以下2面に続く

常に神様の御心に従って この世の中は進んでいる

このことを魂の底から信じさせていただき自分自身を向上させる

1面からの続き

交通機関だけでも大変な進歩でございますし、それから色々コンピューターだとか、その他大変私共はそういう発明、発見によって色々な恩恵を受けているわけでございます。ところが、大変文化が進歩した反面、人類にとって今までにない大きな、色々な不幸の原因もたくさんできているわけでございます。その中の一番大きなことが、ここに明主様が仰っておられます戦争でございます。現在、私共はそういう戦争の影響をあまり受けていないので大変幸せでありますけれども、実際地球上をずっと見ますと、最近また殊に色々、そういう危険が大変多くなってきているわけでございます。それで、それを何とか無くさなければいけない、解決しなければいけないということは、世界中の誰しもが考えるわけでございますし、そのために色々努力をされてきているわけでございます。けれども、実際は現実に直面いたしますと、中々そう簡単には行かないわけでございます。

それでは、そういうことの解決の一番根本的なことは何かということでございますが、これは明主様が他の御教えでも説いて下さっておりますように、結局私共一人一人が神様を信じ、そして神様の御心に叶うような人間にならせていただこう、神様の御心に叶った世界を造り上げていこうと、一人一人が魂の底からなって初めて、この問題は根本から解決できるということでございます。

私共は、神様を信じているというふうに思っておりましても、中々本当に魂の底から信じさせていただけているかということになりますと、これは大変問題があるわけでございます。勿論世の中、世界中には大変深く神様を信じ、本当に神様の御心に叶うように努力しておられる方もたくさん居られます。けれども全体的に見ますと、中々そうはいかないわけでございます。それからまた私共一人一人、自分自身を考えてみましても、ある時はそういう神様の御心に叶おう、神様の御心に少しでも近寄らせていただこうという気持ちを持つ場合も勿論ございますけれども、しかしそれが何時でもかと申しますと、中々そうはいかないわけでございます。ある瞬間は、全然神様を忘れてしまうということも、私共の場合うっかりするとあるわけでございます。

本当は私共一人一人が神様を信ずるようにならせていただくということが、この世の中の戦争を初めといたしまして、その他病気の問題もそうでございますし、貧困の問題もそうでございますし、それから戦争ほどでなくても、私共の周囲には色々な争い、諍い事があるわけでございますけれども、そういうことが根本からなくなっていくためには必要になってくるわけでございます。つまり、私共一人一人が本当に神様を信じさせていただく、この世の中は神様がお造りになって、神様の御心が常に満ち満ちていて、常に神様の御心に従ってこの世の中は進んでいる、ということを魂の底から信じさせていただくことだということを明主様は一番に仰っておられるわけでございます。

けれども、なかなか一朝一夕にそういう気持ち、心、魂にならせていただくということは、現代の私共は大変困難なわけでございます。そういう現代において、神様は、明主様を通じて、私共に、一人でもこういう現在のようになかなか神様を信じられないようになっている世の中の人々に、神様を信じさせて下さる、そのための御力を私共に与えて下さっているわけでございます。これは申し上げるまでもなく、御浄霊の御力でございます。

御浄霊は、神様を全然信じていない、あるいは少しぐらい信じていても本当に確信を持って信じられない、あるいはそういう霊界の事が全然信じられないという方々に、この神様の御力を頂わし、そしてそういう方達の魂を目覚めさせて下さるわけでございます。勿論私共も含めて、その御浄霊の御力によって目覚めさせていただいたわけであります。この世の中の方々が少しでも神様の御光によって魂を目覚めさせていただくというために、神様は私共にこの素晴しい御力を与えて下さっているわけでございます。

ところが、これもいつもよく申し上げるわけでありますけれども、うっかりすると私共は、神様から御浄霊を頂いて良くしていただけるのが当たり前みたいになってしまうことが多いわけでございます。本当は、神様を信じられない人達にも神様の恩恵を見せて下さって、そういう方達をも何とか救ってあげようという神様の大愛の御心の顕われとして、神様はこの御浄霊の御力を私共に与えて下さっているわけでございますけれども、私共は、あまりにこの御浄霊の御力が素晴しくて、あまり神様を深く信じていない間に、素晴しい御守護を与えていただけるために、その神様の大愛の御心につい私共が甘えてしまって、自分の魂を高めていく、自分自身を向上させていただくという努力がつい怠りがちになってしまうということもあるのではないかと思うのでございます。これは私自身も勿論そうであるわけであります。

先日テレビをちょっと見ておりましたら、生死の事でお話しになっていたなかで、ある大変立派なお医者様が「近頃大変感銘を受けたことがある」と仰っておりました。これは、先生のある患者さんが、これはおそらく末期癌の方だと思うのですけれども、一秒たりともその苦しみが止まらないで大変苦しんでおられたわけです。そうなりますと、医学のいろんな注射や凡ゆる手当てをしても、勿論その痛みは止まらないわけです。私自身も、一昨年アメリカへ行かせていただいて、そういう患者さんに随分お会いして、御浄霊によって少しでも楽にさせていただかれた方もありましたけれども、中々、この痛み、苦しみというのは止まらないわけであります。それで、その患者さんの所へその先生が行かれましたら、大変その患者さんは苦しんでおられるわけですけれども、その苦しい中に、何とか笑顔を浮かべようとして、一生懸命努力されているわけです。それで先生が「何故あなたはそんなに苦しいのに、笑顔を浮かべようとしているのか」ということを聞かれましたら、その患者さんが言われるのには「今、自分はもう何も良いことをすることはできない。こんな体になって、しかも苦しくて、何もできないけれども、今自分の先生にできる唯一の良いことは、先生に笑顔をお見せすることだと思って、それで今自分は一生懸命笑顔を浮かべようと思ったんだ」ということをその患者さんが言われたというのです。それで、その先生は大変感銘を受けられたというお話をされたわけです。

私も、その話は大変素晴しいお話だと思ったわけです。その患者さんが、そういういよいよ本当に最後という時に、しかも本当に苦しい時に、少しでも何か自分の今できる良いことをしようと言って努力されるということは、大変素晴しいことだと思いますし、その方の心は本当に美しい心を持っておられると思います。私共はつい苦しい方に行ってしまって、不平になってしまうわけです。神様を信じさせていただいていると思っても、ついそういう気持ちになってしまうわけです。しかし、その方の場合はそういうような本当に美しい魂を持っておられると思いました。勿論そういう方が肉体的にも苦痛を救っていただかれれば、それが一番良いことには違いありませんし、そうであって欲しいわけであります。

私共はいつどんな境遇というか、どういう状態におかれていても、その時、最善の良いことをさせていただくということは、これはできるわけだと思うのでございます。私共は、その中でも一番大きな、神様の大愛の御光をお取次ぎさせていただくことがお許し頂けているわけでございます。その御守様を頂いているわけでございます。私共こそ、一人一人が常に本当にそういう神様の御心に少しでも近寄らせていただくように努力していかせていただきたいと思うわけでございます。

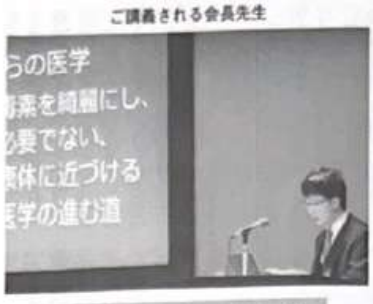
（1983年11月3日）

御神書を拝読し 智慧証覚を得る

会長先生ご講義

深い智慧程 誠の強さから湧く

第139回女性の会勉強会



ご講義される会長先生

第139回女性の会勉強会は、2023年4月21日、22日にお許し頂き、初参加者7名を含む延べ24名の方が参加のお許しを頂かれました。午前10時黎明ホールにてご参拝、御浄霊を頂き、会長先生からご講義を賜りました。近年世界中で猛威を振るっていた新型コロナウイルスに感染することも浄化作用の一種であり、有難い神様の御恵であることをご教示下さいました。『病気とは何そや』(科学編)を拝読頂き、浄化作用の過程である御浄霊のお取次ぎについてご研鑽賜り、有難くも明主様が御浄霊をされる貴重な映像を拝ませていただきました。御浄霊により、世の中の病気を根本から無くすことができること、私達の努力次第で世の中の方々が浄められるとご教授賜りました。コロナも5類に移行されることが決まり、大変な病気が増えているこの時期だからこそ、一日でも早く多くの方にお伝えさせていただき、私達の使命を果たさせていただきましょうとご指導賜りました。

その後、寺岡先生より体験講義を頂き、女性の会発足時のお話などをお話下さいました(4~5面参照)。

昼食は資料研修館と、新集会所に分かれ、今回も無施肥無農薬栽培の作物をたくさん使った色とりどりのお弁当とコーヒー、お菓子を美味しく頂きました。天候にも恵まれ暖かな日差しが心地良く、会話も弾み女性の会本来の癒やかさが戻りつつある楽しいひと時となりました。

午後からは坂井絢子様(7面参照)と小林光恵様(6~7面参照)の体験発表を聴かせていただきました。

引き続き、伊阪由紀子様の体験講義ではお義母様と同居されるお住まいを探されていた時の体験を通して、『御任せする』(栄132)、『時期を待て』(栄14)の御教えを拝聴下さり、新たなお住まいはご布教に使わせていただける家をと念願され探されておられましたが、長期間巡り合えず、紆余曲折を経て最終的には最善のお住まいを与えていただかれたお話を聞かせていただきました。

最後に会長先生よりまとめご講義を賜りました。『五智を説く』(実践編)を拝読していただき、智慧証覚を得るにはできるだけ御神書を拝読することが大切であり、深い智慧程、誠の強さから湧くものであるとご研鑽賜りました。また、『信仰の合理性と再浄化』(栄210)の御教えを拝読して下さり、神様の理窟に合えば何程でも御守護頂けると御教授賜り、御守護を頂いたら精一杯御恩報じするのが当然であると、献金における注意点をお教え頂きました。私達信徒は、全人類救済の御神業にお使い頂く、その資格を与えていただいていることで、叡智を頂き理窟に叶えば無限の御恵みを頂けるとご教授賜りました。

私達は、次回の女性の会勉強会に新しい方をお連れさせていただく最大限の努力をさせていただくことをお誓い申し上げ、午後3時30分に勉強会終了のご参拝をさせていただきました。

明主様、ありがとうございました。会長先生、貴重なご講義を賜り、ありがとうございました。今後ともご指導賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(中村 貴子)

ご講義を聞く参加者

幸不幸は その人の 心掛け次第

御恩報じや 献金について 会長先生ご研鑽

前期青年勉強会

2023年5月28日に前期青年勉強会のお許しを頂きました。初参加5名を含む計51名の方が参加のお許し頂かれました。

初めに黎明ホールにて入所式のご参拝をさせていただき、会長先生のご講義を賜りました。御教えの根幹を御説き下さっている御教えとして『序文』(文創)(総論編)を拝読していただき、現在は既に天国実現の段階であること、最後の審判が近づいており、世界的大浄化を乗り越えるための霊機の解消が必要であることをご研鑽頂きました。続いて、「文明の創造に関する御教え(4)」(総論編)を拝読していただき、「救いの綱を掴む」ためには御守護を頂くだけではなく、人を救い天国建設の御用にお使い頂くことが大切であるとご研鑽頂きました。また、日常生活での急所もお話下さり、聞き上手で急所の突ける人になるために、なるべく単純に考え神様にお任せすることが大事であるともお話下さいました。

次に、小林先生より体験講義を賜り「肥毒について」(科学編)を拝読していただき、作物は肥料を吸うことにより本来の土壌からの養分でなく安易に取り込める肥料を頼るようになることや、作物に取り込まれた肥料がやがて人体内に蓄積され病気の原因になることをお話下さいました。続いて「霊界の変化と農業・医学のわかる順序」(科学編)を拝読させていただき、現在起こっている異常気象も原因は霊にあり、霊界の火素が増えるため気温が上がるとご研鑽下さいました。

続いて、林政樹様より体験発表を聞かせていただきました(次号以降掲載予定)。

次に柴田光均様より体験講義を賜りました(次号以降掲載予定)。

続いて、寺岡先生より体験講義を賜りました。先生のお父様が心臓弁膜症のご浄化を頂かれた時の御守護のお話や、先生が企業に就職された後、ご結婚後も熱心に御用頂かれたお話を聞かせていただきました。

その後、伊吹博人様より恋愛や結婚についての体験講義を聞かせていただきました。

昼食を研修所で頂いた後、津田遵介様より教会参拝についての体験講義を聞かせていただきました。

次に、大谷太紀様(次号以降掲載予定)と松村俊宏様(次号以降掲載予定)の体験発表を聞かせていただきました。その後、各班に分かれて座談会を行い、日頃抱いている疑問や悩み、日頃どれぐらいお伝えができているか、今後の目標など話合せていただきました。

最後に、会長先生よりまとめ講義を賜りました。「浄霊お取り次ぎにあたって」(科学編)を拝読していただきました。御恩報じの重要性についてお話下さり理窟に合えば何度でも御守護を頂けること、神様は何もかもご存知であるから分相応の最大限の努力が必要であることなど献金についてご研鑽頂きました。最後に神様と人との結び付きについてお話頂き、幸不幸はその人の心掛け次第であること、神様の理窟に叶えば無限の御恵を頂け、全人類救済の御神業にお使い頂くことが信徒の使命であるとお話下さいました。

神様とお繋がりが頂けていることへの感謝を忘れず、勉強会後は気持ちを新たにより多くの方をお救いできる青年信徒にならせていただくために日々精進させていただくことをお誓い申し上げました。

会長先生、諸先生方、貴重なご講義をありがとうございました。

(関 明日香)

ご講義される会長先生

先生方のご講義を聞きメモを取られる参加者

講義ノート

女性の会勉強会発足当時の思い出

初代会長先生らの熱いご研鑽を頂き

この尊い御教えを1人でも多くの人にお伝えをと思う

美原布教所
寺岡　直美

本日、女性の会勉強会にて、体験講義のお許しを頂きますこと、心より感謝申し上げます。前回もお話させていただきましたが、女性の会発足当時の思い出と、結婚後未熟ながらもお導きのお許しを頂きましたことについてお話させていただきたいと思います。

昭和49年8月、初代会長先生が「女性の会勉強会」（当時は「若い主婦の会勉強会」）の発足に向けての準備の勉強会をお許し下さいましたことは、その前年の秋に結婚のお許しを頂いた私にとりましては、この上ないありがたいことでした。

初代会長先生は「救い主・明主様への純粋なる信仰をうらぬかせていただきましょう！」「救い主・明主様の御教えに基づく信仰を守らせていただきましょう！」という家訓教会の信仰の信条を掲げて下さり、さらに「家庭の主婦としての立場で御用に御使い頂ける人間にならせていたなく」

「明主様の御教えに基づく昼の世界の家庭のあり方、次の世代を担う子供の教育のあり方等を学ばせていたなく」という女性の会の主旨をお示し下さいました。

この会を通じ、女性の会委員長であられた上田小夜子先生はじめ委員の方々と親しく接しさせていただけるようにしていただけたことは大変嬉しくありがたいことでした。

上田先生は初代会長先生のご意志をしっかり受け止められて、当日有意義な勉強会のお許しが頂けるよう御教えお話話の作成、会場の準備、食事の準備、お子様のお預かりの準備等各場所の入念なチェックをされていたように思います。

ある時の勉強会の前夜の事です。ようやく準備を終え無事ろうとしていた時の事です。

残っていたのは上田先生と御教え作成に1人で携っておられた東垣幸代さんと私だったと思います。初代会長先生が奥の研鑽室から私達のいる講堂にお出ましになられました。そして先生が手書きで書かれた用紙をお見せになられ、これを参加者に分かるように大きく書き写すように仰いました。東垣さんは明日の勉強会に間に合わせられるか心配で会長先生にお伺いされましたら、できると仰ったそうです。

その頃は教会の講堂でご研鑽を頂いており、模造紙を何枚もつなぎ合わせ、講堂の板戸に貼り付けられるような大きさにして、太いマジックで大きく書き写させていただきました。出来上がったのは当日の勉強会直前でした。それが御論文集第二五巻の102頁から103頁にお載せ頂いております、準備時代（夜の時代）から地上天国（昼の世界）への神様の御経綸についてを図式化して下さったものでした。

このように毎回初代会長先生は勉強会の直前まで、より良い勉強会になるようお考え下さって、前日の夜帰らせていたなこうと思っている頃にお出まし下さり、思いついたことを仰って下さいました。

先日上田先生は、初代会長先生が毎回同じではいけない、向上できるようにと常にお考え下さっていたけれど、力不足やったなと仰いました。本当にその通り一向に変らない私達をもどかしい思いで最後まで見て下さっていたと思うと申し訳ない気持ちでいっぱいです。

初代会長先生、多田歌恵前会長先生、お二方の先生のお姿を拝し、熱いご研鑽をお聞かせ頂き、何とか1人でも多くの方にこの尊い御救いをお伝えさせていただきたいという思いは、勉強会の参加者全員にあられたと思います。

上田先生は結婚後、無胞肥無農薬栽培の実施をされ、また多くの方をお導きされ布教所のお許しを頂いていかれました。東垣幸代さんはじめ委員さん方も多くの方をお導きされ、お世話人となっていかれました。また参加者の中でも次に参加された時にはお導きされた方と参加されるというように多くの方をお導きされ、出張所などのお許しを頂いていかれました。私もそういう方々に刺激を受け何とか周りの方々にお伝えさせていただきたいと思わせていただきました。

◆

次に結婚後、未熟ながらもお導きのお許しを頂きましたことについてお話させていただきます。私は生後間もない頃に母が入信のお許しを頂きました。おかげで、幼少の頃お医者様に先天性心臓弁膜症との診断を受け、弱かった身体をお救い頂くことができました。青年の頃には委員のお許しを頂き、色んな御用のお許しを頂けたことは本当にありがたいことでした。

そしてその当時、北白川布教所長としてご布教なさっておられました故馬瀬寿々子先生の甥に当たる主人とのご縁を頂き、結婚のお許しを頂くことになりました。ありがたいお話ではありましたが、結婚後は主人の勤務先である堺で生活することになり、生れ故郷の京都を離れ教会からも遠くなり果たしてちゃんと生活していけるのか、信仰をきちんと続けられるのか不安でいっぱいでした。

結婚に当り主人は何となく入信のお許しは頂きましたが、特別お話を頂いたわけではなく、私も主人に月に一度だけ京都の教会へお参りさせていただきたいというのがやっとでした。

初代会長先生はそんな私に結婚に当り「これから住む土地に少しでも多く神様のお光をまくばらせていただいて、そこの霊界を浄めさせていただきなさい」という勿体ないお言葉を頂かせていただきました。しかし内心はそんなことはとてもという思いでいっぱいでした。

主人は結婚前は大阪南部のアパートで1人で下宿生活をしていましたので、結婚しても始めはアパート暮らしになると思うと言っていました。しかし会社の同僚で友人のSさんがご自分の家の近くに新築中の物件があるので一度行ってみてはどうかという誘いを受けたようでした。その家は堺市よりさらに南ですが、急行の停まる便利な駅から徒歩で行ける所にあり主人は気に入ったようで、私も見に来るように言ってくれました。

私はもともと出不精の方で、大阪までは行ったことがありますが、堺という所へはそれまで行ったことがありませんでした。主人と待ち合わせの日、言われたように電車を乗り継ぎ、やっとなんばまで着きました。主人はなんばから色んな行き先の電車が出ているから間違えないようにと念を押していました。私は何回も言われんでも分かっていると心の中で思っていました。しかし、きっちり行き先の違う電車に乗ってしまい、またなんばまで戻ってやっと主人と待ち合わせていた目的の駅に着いた時は、大変な御迷惑をお掛けしてしまいました。

◆

結婚2か月目頃の事です。お知り合いになったご近所のTさんのお子さんが小児喘息で病院通いをされているとお聞きし、おさまりがつかないうちに、立いておられる時に御浄霊のお取次ぎをさせていただく機会をお与え頂きました。御浄霊をさせていただくと楽になられたのか眠り出されました。Tさんは不思議に思われたのか、しばらくお子さんに御浄霊を続けていただきたいと思われ、御浄霊の

以下5面に続く

結婚の後に頂いたお導きのお許し

小児喘息のお子様

半年後には
通院しなくて良い

絶妙のタイミングで
Oさんと会わせて下さる

新築中の物件を購入
御神体・御屏風観音様
ご奉斎のお許し賜わる

その他にも多くの

因縁の方々をお集めになられ御救いの綱を投げかけて下さる

御神書に基づいたご指導賜る

悪い事は諦めが肝心 いい事は諦めないが肝心

4面からの続き

お取次ぎに行かせていただく度に神様のありがたいお話をさせていただきました。

ある時Tさんはある質問をされました。どんな質問だったかはっきり覚えていないのですが、それが前日に拝読させていただいた諸の『人間と病気』という御教えだったと思うのですが、そこに考えがちゃんと通かれている質問でした。質問だったらすぐに答えられないような少し難しい質問だったと思うのですが、スラスラとお話させていただけ、Tさんも納得されたようでした。私もまさか前日に拝聴させていただいていなければ、きちんとお話させていただけなかったと思い、神様がちゃんと御用命下さったことに感謝申し上げさせていただきました。

ほどなくTさんは入信のお許しを頂かれ、お子さんと御浄霊のお取次ぎをされ、お子さんの小児喘息は半年後位にはお医者様に通院しなくて良いと言われる位良くしていただけ大変な御守護を頂かれました。

◆

結婚適年の8月には御守護により無事第1子を出産されていただくお許しを頂きました。また、同時期女性の会勉強会に向けての委員会などに教会へ参拝させていただくことが多くなりましたが、主人、実家の母などの協力があって本お許し頂けたと思い感謝しっぱいです。

子供が生まれると育児に追われ、また、神様の事が後回しになる日々が続いておりました。しかし、これでは申し訳無いと思い、主人が出勤し、子供が起きてくるまでの朝の2時間位を継続の時間にさせていただくようにし、続けさせていただきました。門戸も閉め切ったままでした。

そんなある日チャイムが鳴り、玄関に出ると郵便配達の方で判子がいるとの事で外へ出ていきました。そこにちょうどお隣のOさんが立っておられましたので挨拶し「今日は仕事はお休みですか?」と声をかけさせていただきました。するとOさんは今から病院に行って膝にできた脂肪の固まりを手術して取ってもらいますと仰いました。すぐに神様のお話をさせていただき、御浄霊を頂いてみられませんかとお話させていただくと、素直に家の中に入ってこられ、2時の御神前に上ってこられました。

御浄霊のお取次ぎをさせていただき、しばらく御浄霊を試してみられないかお話させていただきました。少しためらっておられましたが、病院に行って手術の約束をしているので行ってきますと言われ帰られました。

翌朝の事です。Oさんが来られ「昨日病院で手術をしてもらい夜中痛んだら飲むようにとお薬を貰ってきたけれど、全く痛まずに朝までぐっすりと休むことができた。不思議や、ありがたい。お礼を頂いた」と興奮しつつ庫の御神前に上がられ神様にお礼のお参りをされました。私は世の中にこんな素直な方がおられるのかと正直びっくりしました。

そして約1週間後には、当時の北白川布教所にお参りされ、故馬瀬寿々子先生より教祖を頂かれ、ありがたくも入信のお許しを頂かれました。Oさんはご主人が病弱のため、Oさんがご主人の代わりになって働かれ、様々な苦労をしてこられていました。そしてOさんは入信されるなり大きな缶に入れられていたご主人のお薬を全部捨ててしまわれ、ご主人に御浄霊をさせていただかれるようになられました。飲む薬が無くなったご主人は御浄霊を頂かれるうちに徐々に元気にしていただかれ、後日入信のお許しを頂かれました。

また、Oさんの娘さんが産後の養生でご実家であるOさんの宅に預られた時に御浄霊を頂かれ、入信のお許しを頂かれました。後々に娘さんのご主人も入信のお許しを頂かれ、沢山の方をお救いさせていただかれました。他にもOさんの子供さんはじめご家族、親戚の方と次々と多大な御守護、奇蹟を頂かれその都度新聞にお礼の報告として掲載のお許しを頂かれました。一昨年1月にOさんはご無調になられましたが、葬儀様までご参詣されまして今後の霊界での活躍をお祈り申しあげております。

Oさんに初めにお伝えさせていただいた時の事ですが、私はその時家で拝聴をさせていたいていおり、郵便配達の方がチャイムを鳴らされなかったら外に出ることはなかったですし、Oさんもあと少し郵便配達の方の来られる時間がずれていたら病院に行っておられお会いすることはなかったと思います。絶妙のタイミングで神様はOさんと会わせて下さったと思うと、神様のなされることのすごさに只々ひれ伏すばかりでございます。

◆

新築の分譲住宅ということであちこちから移り住んで来られ、結婚間なしで子育て中の方が多く、親も子供も仲良くなり、お伝えもしやすくしていただきました。約13年余りの後に今の土地に移ることになったのですが、今回は当初のお町内でお救い頂かれた方々のお話をさせていただきたいと思います。(後にはお町内以外の方々も色んなご縁でお救い頂かれました。)

Tさんは当時2、3才のお子さんに湿疹が出ておられ、お伝えさせていただきたいと思って御神前でお願いさせていたいていました。そうしたらTさんのお子さんが私の家の玄関のたたきからよじ登って部屋に入ってこられました。これは良い機会をお与えいただいと思い、お子さんを迎えにこられたTさんに初めて神様の事をお伝えさせていただきました。

Tさんは小児科医で有名なある方の著書を読んでおられました。その本に子供が発熱してもすぐに医者に行かずにちょっと待ちなさいと書かれていて、子供さんが発熱された時、3日待って4日目に熱が下がったという経験をされていました。またお子さんに湿疹がでてきて自然に任せておられましたが、ひどくなってこられ、一度だけ塗り薬を塗られたそうです。そうすると翌日にはとてもきれいな肌になりましたが、翌々日にはまたドッと湿疹がでてきたそうです。余りにもきれいな肌になったので、逆に薬の恐ろしさを感じられ、それ以後薬は使われなくなられたそうです。自然に任せた育て方をしておられました。

Tさんは程なく入信のお許しを頂かれ、子供がまだ幼かった頃から私が教会にお参りしやすいように色んな面で協力して下さいました。ありがとうございました。

Fさんもお子さんがよく熱を出され、その都度御浄霊を頂かれ良くしていただいておられました。親戚の方にも明主様の信仰をしておられる方がおられると伺い、お名前をお聞きし、多田歌恵会長先生にその親戚の方のお名前を申し上げましたら、何と教祖教会の古くからの信者さんでした。何か不思議な縁を感じられたのか入信のお許しを頂かれました。

またFさんのお姉さんで少し遠方にお住まいの方で、子宮後屈手術から病院通いが始まり、次々と病名が増え薬を欠かせない生活を送っておられ大変困っておられたところをFさんから御浄霊を頂くように勧められ、入信のお許しを頂かれました。お姉さんは徐々に良くしていただかれ、欠勤続きだった仕事も精勤賞を頂かれる位良くしていただかれました。無施肥無農薬栽培試験田のご奉仕に行かせていただける位元気にしていただけたことを大変感謝しておられました。

◆

次にOさんと反対側のお隣のTさんのお子さんが左足を骨折され痛がって一睡もされなかったとお聞きし、御浄霊のお取次ぎをさせていただきましたところ、翌日はぐっすり眠られ、おまけに朝起きると寝返りを打って倚せになっておられたそうです。お医者さんは余りにも早く骨が元通りになっているのでビックリされ、また骨を引っ張られたとかいうことでした。

その話を聞かれたTさんのお姉さんのSさんは自律神経失調症(今でいうパニック症)で色んな治療をしても良くならず大変困っておられました。妹さんに勧められ訪ねて来られました。Sさんは心臓が締め付けられるような発作が度々あり、人ごみの場所は勿論近所の買物にも行けず、ほとんど家に閉じこもったきりの状態でおられました。御浄霊を頂かれる度に色んな変化があり楽にしていただかれる反面きつい発作のご浄化もあり、なかなか京都にお参りされることも大変なことでしたが入信のお許しを頂かれました。時間はかかられましたが書ききれない程たくさんの御守護を頂かれ、働ける位にまで元気にしていただかれました。

また因縁の土地に導いて下さった主人の同僚のSさんも後に浄化を頂かれ、主人がお導きのお許しを頂きました。Sさんの義理のお母さんも悪性子宮頸ガンと診断され大変大きな腫瘍になっておられました。しかしベッド待ちで手術が一か月程延び、その間御浄霊を頂かれましたところ、沢山のおりものを出していただかれ、手術された時には腫瘍が大変小さくなり、良性に変えていただかれるという御守護を頂かれました。

結婚に際しこんな僻地と思った所に神様は因縁の方をお集めになられ、お救いの綱を投げかけて下さったとしか思われないことがいっぱいありました。しかし、神様はもっと多くの方をお救いしようと思われていたに違いありません。私がうかうかしていて救いの綱に摑まることができなかった方が大半だったと思います。

実際このように結婚間なしの頃にはお導きのお許しを頂いておりましたが、この数年は何の発展もなく大変申し訳無い現状でございます。ついて今を口実に怠けてばかりの毎日を送っていたことを反省させていただき、何とか今一度布教の場として御用にお使い頂ける布教所にならせていただけますよう信者様と共に力を合わせ進ませていただきたいと思います。

また未熟な私を色んな形で支えて下さり、どの方がおられなくても今の布教所はなかったと思いますし、こちらが教えていただくことの方が多かったと思います。本当にありがとうございました。

◆

最後に、結婚当時よく拝読させていたいていた御教えを拝読させていただきます。

『一番肝心な事がたった一つあるんです。それはね、どうしても発展しよう、大きくなろうって強く思う事ですね。それが根本です。俺は駄目だ、なんて思う事が一番悪い。俺も人間だ、人がやれるなら俺にだって出来るっていう気構えでね、失敗しても、笑われても諦めないで、どうしてもやり遂げるっていう、そういう人が発展しますね。私自身がそうなんですよ。それを、一度転んだらもうしようとしないなんていうんじゃ駄目です。「諦めが肝心」と言いますがね、物によってはそうですが、物によっては「諦めないが肝心」ですよ。だから、悪い事は「諦めが肝心」いい事は「諦めないが肝心」ですよ。』

(光話8 S・24・5・30)

会長先生いつも御神書に基づいたご指導を賜わりありがとうございます。

光子先生、歌恵先生両様の適確なご指導を賜わりありがとうございます。今後共よろしくお願い申し上げます。

馬瀬寿々子先生結婚以来優しく暖かく、信徒の方をお導きくださいまして、本当にありがとうございました。

(2023年4月21・22日)

幼稚園児の次男

おでこをぶつけたんこぶできる

その後も

同じ箇所をぶつけるご浄化続く

お蔭ご奉告

小林　光恵

明主様、日々数限りない御守護を賜り誠にありがとうございます。またこのたび体験発表のお許しを賜り心より感謝申し上げます。

私は2010年に結婚後、3人の子供を授けていただき、それぞれの出産時なども不に至るまで数々の御守護を賜ってまいりました。今回は次男に頂きましたお蔭をご奉告させていただきます。一昨年（2021年）の一月、幼稚園で友達と遊んでいた時にこけて花壇の周りのレンガにおでこをぶつけ、たんこぶができていると幼稚園から連絡がありました。幼稚園には一人目の長女の入園時より怪我をした時など神様にお願いして御浄霊で良くしていただきたいので、何も知らせずにすぐに連絡をしていたがくようにお願いしておりました。

私はすぐに幼稚園へ行き、園長室をお借りし15分ほど御浄霊のお取次ぎをさせていただきました。おでこの左上辺りが腫れており、まぶたの腫れはありましたが痛みがマシになったようなので鼻孔を残したまま私だけお迎えの時間まで帰ることにしました。その後、幼稚園にお迎えに行った際に、保健の先生がおでこを打った時にうっかりしてすぐに冷やしてしまったことを話され何度も謝って下さり、私は大丈夫ですとお伝えさせていただきました。他の先生も心配して下さっていましたが、園庭で元気よく遊ぶ次男の姿に「すごいですね。母の手やね」と驚いておられました。私は神様の御光のお蔭であることをお伝えさせていただきました。

帰宅後、御神前にて私の信仰の至らなさから誤った行為をされることになってしまったことをお詫びさせていただき、この程度で済ませていただいたことをお礼申し上げました。再度御浄霊のお取次ぎをさせていただき、腫れはあるものの押さないと痛まない程度にまで良くしていただき夜にもう一度御浄霊をさせていただきました。

10日ほど経ち、おでこの腫れも随分良くしていただいたのですが、触るとボコっとした固いものが少し残っており、押すと少し痛い程度の状態が何日も続きました。

約2か月後、公園に向かう途中の道端で次男が転けた時、全く同じところをぶつけてしまいました。その後も、幼稚園でおでこを壁にぶつけたり、こけて床でぶつけたりと同じ箇所を何度もぶつけるというご浄化が続きました。その都度、御浄霊のお取次ぎをさせていただくのですが、ボコっとした固まりは無くならず最初にもっと詰めて御浄霊をさせていたらと反省しました。

そのような中、昨年4月17日、次男が新築現場の足場から落ちるというご浄化を頂きました。主人は大工をしており、その時期、近所に自宅を建設中で、時折主人がいる時に子供たちも見に行っていました。その日は日曜日で主人は現場にいなかったのですが、夕方姉弟3人で現場を見に行ったようで、その際、足場からジャンプで降りようとした時に失敗し、1メートル以上ある下のコンクリートに頭から落ちたようでした。長女が慌てて私を家まで呼びに来てくれ、すぐに駆けつけました。次男は鼻血まみれになって横たわり気弱く泣きじゃくっており、長男が自分の膝に弟の頭をのせ御浄霊のお取次ぎをさせていただいていました。左おでこと顔面を打ちけがまた鼻血が出ていまい、長女と長男も動揺してしまい、長女と長男も動揺して心配し3人で御浄霊をさせていただきました。しばらくすると泣き疲れたのか眠り出した様子で動かしてもいいものか心配でしたが、抱きかかえて連れて帰り、家の御神前で御浄霊のお取次ぎをさせていただきました。家族交代で何度も御浄霊をさせていただきました。

夜9時頃起きてきました。まだ元気はないものの、当初よりはだいぶ良くしていたいている様子でした。以前から何度もぶつけている左おでこは擦りむけ、右頭、右手首、腕にも痛みがあることが分かりました。食欲はありましたがご飯を食べる時、歯を痛がったので細かく刻むと食べることができました。お風呂にも入ることができ、血たらけになった顔も綺麗になりました。夜10時、寝つく前に頭が痛かり、寝付いた後も一度お腹が痛いと泣いて起きたのですが、その後は夜通し朝まで何度も御浄霊のお取次ぎをさせていただき、ぐっすり眠らせていただくことができました。

翌日は感謝祭でした。朝8時に自分で起きて、まだ少し元気はなさそうで、右頭など押すと少し痛みはあったものの、おでこの腫れは随分引いて、顔のぶつけた箇所が赤くなっているだけの状態にまで良くしていただいていました。大変な事故になっていたかもしれないところを大難を小難にしていただき、たった一日でここまで良くしていただき御守護頂いたことを教会の御神前にて明主様に心から感謝申し上げさせていただき、わずかですが献金をお供えさせていただきました。教会で叔母にあった際、次男に「打ち所が悪ければ死んでいたかもしれないし、もっと大変なことになっていたかもしれないよ。御浄霊をずっと頂いていたから、こんなにも早く良くしてもらったのやで」と話してくれました。帰る頃には朝よりもさらに元気にしていたき、夕方には近所のお友達と走り回って遊べるようになり、右頭の痛みもほとんど良くしていただきました。

このご浄化がある少し前に長男がタイヤ跳びから落ちて頭を打った際、夜中に御浄霊をさせていただけなくて翌日もまだ痛く、しんどくて学校を休んだことがありました。最初に何度も詰めて御浄霊を頂くことの大切さを改めて実感させていただきました。

次男の左おでこには、数日後には綺麗になり、痛みもほとんど無くしていただきました。

転落事故で鼻血まみれ

御浄霊をお取次ぎ

大難を小難に

数か月後、次は歯痛のご浄化を頂くようになり、最初、下の左奥歯から痛み出したのですが、右奥歯が痛むこともあり、その日によって痛む箇所が変わり、痛みに耐えられず泣き叫ぶこともありました。下の歯茎が大きく腫れることもありましたが、御浄霊を頂くと痛みをとっていただけました。数か月の間、時々痛むことが続きましたが御浄霊を頂き自然と痛まないようにしていただき、左おでこにあった固まりはいつの間にか無くなっていることに気がつきました。今ではすっかり良くしていただき、左おでこをぶつけることもなくなりました。

明主様、本当にありがとうございました。

このようなご浄化を頂いた次男も先月に、小光の御守様拝受のお許しを賜り、心より感謝申し上げます。御守護頂くことが当たり前にならないよう、常に感謝を忘れず、賜りました数々のお蔭をお伝えさせていただけるよう子供達にも伝えていきたいと思わせていただいています。

今年の4月まで9年間、3人の子供を幼稚園に通わせていた中で、いくつもの出会いがあり何名かの方に御浄霊のお取次ぎをさせていただく機会を与えていただきました。御守護頂かれたこともあったのですが、私の誠の至らさのため、お尋きという結果に繋がっておらず大変申し訳ない思いでいっぱいです。ご因縁の方々が一日でも早く明主様の御救いにお繋がり頂かれますように、私自身が向上させていただきたいと思います。

一昨年の4月、次男が幼稚園に入園するタイミングで、資料館のお掃除をさせていただくお許しを頂きました。子供が入園したら時間ができるので何か少しでも御用がさせていただきたいと思っていた矢先の事で大変感謝させていただきました。同時期に、主人の姉が乳癌であることが分かりとても辛い時期ともなりました。姉はその事について女性の会で二度お蔭ご奉告のお許しを頂いており、何度も奇蹟を見せていただいています。私も御浄霊に通わせていただく機会を与えていただき、間近で神様の御力の素晴らしさを実感させていただいています。当初、乳癌と聞いた時は、とても悲しんでしまったのですが、姉は「自分が癌だと聞いても泣けなかったけれど、今まで御浄霊をさせていただいていた方にさせていただけなくなってしまうのが申し訳ない気持ちで泣けてきた。だからもっとがんばらないとあかんけど、もしもの時はお願いしたい」と私にお友達の名前や容態を教えてくれました。どんな困難な状況におかれても自分の事より人の幸せを願い利他愛の心を持つ姉にとても心を打たれました。何度も大変なご浄化を乗り越え、神様の御恵みに感謝の言葉では言い尽くせません。姉は、私たちが何気なく送っている日常生活、歩くこと、話すこと、飲食すること、着替えること、入浴すること、寝ること、尿が出ることなど全ての事に感謝させていただいています。そのような姿を見て私自身何の支障もなく日々過ごさせていただけていることが当たり前になっていたことが申し訳なく、もっと一つ一つの事に感謝の心を持ち、少しでも神様のお役に立たせていただかなければと思わせていただきました。

◆

最後に昨年7月に新築の住まいをお許し頂きましたご奉告をさせていただきます。私は結婚前、教会で専従のお許しを頂いていました。結婚にあたり、多田敬恵前会長先生は主人の仕事の面、経済面の事をご心配下さり、結婚後の住まいを決めて下さるなど、夫婦ともに大変お世話になり心より感謝申し上げます。主人は工務店を営んでおり、いずれは自分の家を建てたいという思いを持っておりましたが、最初はとても一軒家を建てられるような経済状況ではありませんでした。その中でも夫婦ともに毎月の献金だけは減らさずにさせていただきたい思いがあり、お許し頂けたことは本当に感謝しかありません。主人はとても収入が厳しかった時期を機に毎朝御神書拝読をさせていただくようになりました。除々に売上を伸ばしていただけるようになり、一昨年近所で条件にあう物件が見つかりました。先約の方がおられたのですが、こちらに順番が回ってくることとなり、厳しかった

自分の事より人の幸せを願い利他愛の心を持つ姉に心を打たれる

以下7面に続く

6頁からの続き

ローンの査定も無事に通るなど、御守護だと思うことが重なりました。嬉あってこちに決めていたいたのだと夫婦ともに明主様に心より感謝させていただきました。

主人は御神前を中心とした客になることをまず考え、歌東会長先生に間取りを見ていただきました。信徒の方が増えた時に御神前を広げられるような間取りにするようご指導下さり確認して下さいました。歌東会長先生より賜りました数々のご教導に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これから新しくお許し頂いた御神前に一人でも多くの方をお連れさせていただき、御神前を広げられる日を一日も早くお許し頂けますよう努力させていただきたいと思います。

新築の住まいをお許し頂く

昨年6月には教会祭典時の献饌準備の御用のお許しを賜り、またこのたび女性の会委員のお許しを賜りました。今まで賜ってまいりましたご恩は数知れず、御守護に対し何のご恩報じもさせていただけていないことを心よりお詫び申し上げます。少しでも賜りましたご恩にお報いさせていただけますよう、未熟な私ではございますが感謝と誠の気持ちで賜りました御用を一生懸命させていただきたいと思います。そして一人でも多くの方に御浄霊のお取次ぎをさせていただき、地上天国建設の御用の一端にお使い頂けますよう努力させていただくことをお誓い申し上げます。

明主様、ありがとうございました。

会長先生、いつも優しく時には厳しく細やかなところまでご指導賜りありがとうございます。

光子先生、いつも子供たちの事も気にかけて下さり、楽しく御用させていただくことを身をもって示して下さり感謝申し上げます。

これからもご指導の程よろしくお願い申し上げます。

（2023年4月21・22日）

お蔭ご奉告

鼻血のご浄化に御守護頂く

北白川支部　坂井　倫子

明主様、日々数限りない御守護賜りありがとうございます。女性の会の貴重なお時間に体験発表のお許しを頂き誠にありがとうございます。

私は1982年、当時、緑色の仕事をしておりました。展示会前等は帰りが夜遅くなることが多く不規則な毎日を送っておりましたため、神経性胃炎となり、高校時代の友人から当時の北白川布教所に誘ってもらい御浄霊を頂きました。

御浄霊を頂き少し楽になりたいたいたきましたが信じることができずにいました。馬瀬寿々子先生が「試してみられたら」と優しく仰って下さり、そのお言葉に安心して、繁明教会に入信のお許しを賜りました。2006年には支部にて色々な補々とした御用を頂き、充実した毎日を送らせていたいておりました。

この度は2014年の春頃より頂いた鼻のご浄化についてご報告させていただきます。最初は少しずつ右鼻よりジワジワと鼻血が出始めました。1日中右鼻よりずっと出血していましたが、何の痛みも違和感もなく日常生活には何の支障もありませんでした。寝る時も出ていましたが寝苦しいこともなく寝られました。

たま朝起きると血の流れた後が残っているため顔を洗う時にたくさん出していたいていることに感謝いたしました。鼻血のご浄化は頭の毒素を出していただくとお聞きしていたので、心配することもありませんでした。

数か月、鼻血のご浄化が続いた頃、鼻の下より何か出ているのが分かりました。馬瀬先生が「何か出ているみたいだけど引っ張ったら取れるの？」と聞かれましたので引っ張ってみましたが取れませんでした。先生はその症状を見て、以前「鼻音」と診断された方と症状が似ていると仰っていましたが、私にとっては初めて耳にする言葉でした。先生が拝読して下さった御神書には

『鼻音は膿の固結したもので腫物の根の如きものである。医療は蓄膿も鼻音も手術除去を行うが、之は一旦治癒しても必ず再発するもので、畢に手術中毒となる場合が相当ある。特に注意すべきは蓄膿手術失敗の為、生命を失う事さえ偶々あるのである。而も此場合患者は激烈なる苦痛に堪えかね狂乱の極致に陥って死ぬのであるから恐るべきである。』（天福一八一）

とお説き下さっております。痛みなく血膿を出していただいていることに感謝申し上げました。

鼻音が大きくなっていくのだろうかと不安に思うこともありましたが、数日後には取れて何かが出たわけでもなく、自然に消えていました。本当に不思議で明主様に感謝申し上げました。

その間にも鼻血は続いておりました。「そんなにずっと出血していたらしんどくないの？」とよく訊かれました。普通鼻血が出続けていたら、貧血など起こし、こんなに普通ではいられないのだと思い、改めて感謝でいっぱいになりました。

教会や支部の清掃奉仕には行かせていただいておりましたので、それだけは続けさせていただきたいと前日にいつもお願いしておりました。ご奉仕の帰りに信徒の方と相互浄霊をさせていただき、教会ではお世話人様からも御浄霊を頂くと、体が軽くなったようでいつも帰りは楽にならせていただきました。

当時、中元、お歳暮シーズンの和菓子店のアルバイトをしておりましたが、鼻血も出ておりましたが、マスクを掛けてなければいけなかったため誰にも心配を掛けず続けることができました。

2018年8月頃より、お盆明で自宅庭木の剪定などが続いておりました折、肩こりから肩が詰まったような不快感があり、鼻骨の右側が腫れてきました。目によって腫れは、頬と面一になるぐらい腫れていたこともありました。次第に顔色も悪く、匂い、味なども少しずつ分からなくなってきました。特に上り階段や坂道は何度も休みながら行かせていただくという状況でしたが、寝ることはありませんでした。

痛みはありませんでしたが、肩が重くじっとしていても辛い時期でした。食欲はありませんでしたが、何か食べなければと思うと食べることができました。買い物に行き、食事を作ることも時間がかかりました。何もしていないでいると鼻の腫れも引いてきましたが、ちょっと重いものを持ったり疲れたりすると腫れだして、その繰り返しでした。

平日は毎日支部にご参拝させていただき、自宅でも自己浄霊を頂いておりましたが、体調に合わせて3分ずつ何回も頂くこともありました。御神書拝読も肩が詰まってくるような時は1ページ拝読するのもやっとの事でした。そんな時は歌集『山と水』を拝読させていただいたり、資料研修館図録を見たりしておりました。

その頃、御浄霊を頂きに支部にご参拝させていただいていた時に、支部の玄関から2階の御神前に向かう途中、すでに腐の匂いがするため、誰が来たか分かると言われたことがあります。自分では全く分からなかったことですが、鼻からの排泄物は血液と膿が混ざって出していただいていたようで、私が来ると匂いで分かるということでした。

自分が知らない内に皆様に不快な思いをさせているのかと思うと悲しくてやり切れない思いで、その事を考えると涙が溢れました。でも、どうすることもできず、只々明主様にお願いするしかありませんでした。ご参拝や清掃ご奉仕に行かせていただいても良いのだろうかなど、色々な思いが交錯して頭から離れませんでしたが、そんな時でも親切に話しかけていただき、暖かい人の気持ちに触れ、少しずつ気持ちが落ち着いていきました。

その頃は少し寒せてきていましたので、馬瀬先生には大変ご心配頂き、一度病院で診てもらってはどうかとご指導頂いたことがありました。ちょうど鼻もパンパンに腫れていた時だったので、こんな時に診察してもらったら医学では御毒っている膿を出す手術になるかもしれないと、知り合いと医学関係者の方にお聞きしていたのですぐに診察に行く気にはなれませんでした。折角治かしていただいている薬毒を固めてしまうことになるかもしれないと思うと気が重く月日が過ぎていきました。

そんな中、主人がバイク事故で入院することになりました。ちょうどコロナ禍で面会することも、御浄霊のお取次ぎもできませんでしたが、大きな怪我も無く意識もはっきりしていたので安心いたしました。主人が入院する病院に書類等を届ける際に耳鼻科が近くにありましたので、これは一度診察してもらった方が良いということかもしれないと思い診察に行く決心をしました。ところが、今まで受診している方は診察できるがコロナ禍の影響で初診の方は診察が出来ないと言われました。なんだかホッとして色々な執着が取れ、気持ちを楽にしていただきました。

その頃より食欲も出て体力も少しずつ戻ってきたように感じました。鼻も腫れている期間が短くなり、少し疲れても腫れなくなりました。

2021年の6月10日の夜の事です。その2、3日前より鼻の中に違和感がありました。何かできたのだろうかと思っていた所でしたが、鼻をかんだ際に何か引っかかったように思い、もう一度強くかむと、1cm位の丸い血の塊のようなものが出てきました。その際に少し出血しましたが、それから後は一滴の出血もありませんでした。

その日を境にピタッと鼻血を止めていただきました。嬉しくて家の御神前にてお礼申し上げました。暫くの間はまたご浄化を頂くのではないかと思っておりましたが今年の6月で2年になり、体力も大分回復してまいりました。

ご浄化が始まって実に7年目にして、出血も腫れもなく、ご浄化以前より元気にしていただきました。今では、何の問題もなく日々生活させていただいております。

これからは頂きました多大なる御守護に少しでもお報いさせていただけますように、御用にお使い頂きたいと思います。またこの感謝の気持ちを忘れず、頂きましたお蔭を多くの方々にお伝えして、1人でも多くの人に御浄霊をお取次ぎさせていただきますきっかけとなりますようにと思っております。

明主様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

側後になりましたが、多田歌東会長先生、馬瀬先生、教会、支部の信徒の皆様には大変ご心配をおかけし、また暖かく見守っていただき誠にありがとうございました。

（2023年4月21・22日）

鼻をかむと血の塊が出る

その日を境にピタッと鼻血を止めていただく

出血も腫れもなく

ご浄化以前より元気にして頂く

クラブ活動で左手の指にけが
御浄霊を毎日何度も頂く
日に日にしこりが小さくなっていく
公式戦に挑める

お蔭ご奉告

中村　陽葉

明主様、日々限りない御守護賜りありがとうございます。この度、お蔭ご報告のお許しを頂き、謹ねて感謝申し上げます。今回は大学受験に際し、頂いた御守護のご報告をさせていただきます。

私は高校受験で希望通りにいかず、第2志望にしていた高校に通うことになりました。新型コロナウイルスの影響で約2か月の休校期間は憂鬱で高校生活に期待が持てませんでした。ですが、休校期間が明け、フィールドホッケー部に入部してからは、友達もたくさんでき、毎日が楽しく充実した学校生活を送ることができました。私は人見知りでなかなか自分から知らない人に声を掛けることができませんが、クラブ活動を通してかけがえのない仲間に出会うことができました。

スポーツを通して人との繋がりや、運動の楽しさを子供達に教えられたらと思い、将来は体育の先生を目指してみようと思うようになりました。私が通う高校のコースでは指定校推薦で大学受験をする人が大半で、一般受験をする人はクラスに数名でしたが、担任の先生に相談してみると、先生は目をキラキラさせて、喜んで応援すると言ってくださいました。私は、体育の教員免許が取得できる大学を受験することに決め、高校2年生の3月より受験勉強を始めました。

クラブの引退を間近に控えていた2022年4月、コロナ禍による活動制限が緩和され、合宿に行っていた時の練習試合で、スティックを握っていた左手人差し指に飛んできたボールが当たり、みるみるうちに2倍以上に腫れ上がっていきました。ホッケーボールはゴルフボールを2～3倍に大きくしたようなもので、とても固く、今までもボールが当たり打ち身などを繰り返していました。すぐに自己浄霊をさせていただきましたが、内出血と腫れがひどく指を曲げることもできない状態でした。

毎日、御浄霊を頂き1週間程で腫れは引いていきましたが、血が出なかったためか、指の中で血が固まりしこりのようなものができました。指の事態に動揺してしまいましたが、落ち込んでいる暇は無く、公募推薦入試に向けて本格的に勉強に励みましたが、合格することはできませんでした。その時私は、夏期学生錬成会で決意させていただいた、毎日の拝読が疎かになっていたことに気付かせていただき、その日から毎日の拝読と相互浄霊をさせていただくようになりました。

年が明け一般入試が始まりましたが、前期入試は少しも不合格でした。過去問題なら満点に近い点数を取ることができていましたが、本番は焦りと不安から問題を解くことができませんでした。受験した大学は受験問題を持ち帰ることができ、自宅で解き直してみると試験中はできなかった問題も、ほぼ解くことができました。入試の点数開示は高校に届くので聞きに行ってみると、全部合格点よりも数点足りないだけでした。

毎回、試験中に舞い上がってしまい本来の実力が発揮できないのはどうしてなのか。この主全部の大学に落ちたらどうしよう。次の中期入試に合格できなかったらと、不安でいっぱいの日々でした。毎日塾に行って何も考えずに勉強をしている時だけは不安から解放されました。

そんな中、姉からも励まされましたが、一度も受験に失敗したことのない姉には、私の気持ちは分からないと素直になれませんでした。姉はもっと上の大学を受けることもできたのに、なぜ今の大学を選んだのだろうと不思議に思っていましたが、母から姉が大学を選んだ理由は教会から近く、通用させていただける環境だからだと聞きました。自分は自分がしたいことを理由に遠方の大学を選び、大学生になってからもクラブ活動を続けていくつもりでいました。自分中心の考えになっていたことにようやく気付かせていただきました。教会の御神前でお詫びをさせていただき、これからは神様中心の生活を送らせていただけますようにと祈願いさせていただきました。

そして最後にすると決めていた第1志望の入試に臨みました。最初はやはり焦ってしまいましたが、自己浄霊をさせていただくと落ち着き、今までにないくらいにすらすらと問題が解けました。実はこの日は違う大学と受験日が重なっており、前期入試に失敗した私には、他の大学を受験したほうが良いのではないかと出願時に担任の先生からも提案されていました。ですが、諦めきれずに第1志望の大学に出願しました。

4日後、滑り止めのために受けた大学の合格通知が届きました。春から大学生になれる安心感でいっぱいでした。家族に合格の報告をすると、「よかったね。陽葉の笑った顔を久しぶりに見たわ」と喜んでくれました。本当に笑えないほどに追い詰められていました。

心が軽くなって、第2志望の大学の中期試験を受けました。信じられないくらいに問題が解けました。そして第1志望の大学の合格発表の通知が届きました。嬉しくて合格通知を抱きしめて号泣しました。最後に受けた第2志望の大学も合格最低点よりも30点以上、上回っての合格でした。担任の先生は、こんなにできるのになんで前期入試では受からなかったのかと不思議がっておられました。本当に想念の大切さを学ばせていただきました。

これからたくさんの方を教会にお連れできるように、拝覧を捻らす神様中心の生活を送らせていただきます。

この度青年会のお世話係のお許しを頂き心より感謝申し上げます。

会長先生、いつもお気にかけて下さりありがとうございます。これからもよろしくお願い申し上げます。

（2023年4月16日）

大学受験　想念の大切さを学ぶ

行列の児等の先頭蝶二頭　多田　光子
街頭演説冴返る街並　小林　正幸
立春やささやく星の声明か　楽田　多津
春耕や動き出したる土の精　荒木加代子
寒風や選手のタスキ秒で去る　成富　雅子
風花やお郷訛りの競技場　五條　直美
風花や胸に秘めたる熱きもの　吉岡　知子
イヤリングひとつを捜し冴返る　伊吹　之博
神前に蕾ひろがる寒紅梅　中島三壽子
寒椿一つのことを貫けり　鈴木てるよ
風花や師と再会は叶はずに　中岩紀美子
七転びまんまんまるに雪だるま　平田　恭子
恋の猫出会いを求め勇み足　寺岡　直美
アリゾナの果無き荒野兎跳ぶ　森　ユカリ
日脚伸ぶ遊び疲れは児の勲章　中島トモ子
ふる里は思ひ出深し去年今年　家田　由実
孫達の和服着飾り初詣　野口利恵子
大寒や夫に一枚掛けたして　丸田　信宏
白梅のほころぶ明るき神前　藤田　恵子
裸木の林立の先遥かなり　西田　貢造
年新た小さき棚田を守りつつ
大寒や五感の先を拾ひ読む
竜の玉世間知らずの独り言
石庭の石を隠して雪無言
神苑の松より雪の垂り落つ
赤鬼の靴下白し福の豆
雑踏に里の訛りや春の駅
新年や先づは黎明教会へ
菜一種すまし雑煮に漆の香
ごほうびは元気な笑顔春大根
手放して心は軽し二月来る
反抗期息子の造る雪だるま
朗報や大輪咲かす寒椿
春めいてホップステップ歩を伸ばす
うららかな日差しを受けて猫の昼
くっきりと京一望の寒登山
寒の水思考のループ断ち切りて
愛を切る二十歳の娘寒明ける
雪しまき白装束の京の街
初夢を獏が食らいて夢の中
正月や日々の学びの始まりぬ

れいめい俳壇

◇…2023年2月選句…◇

早起きの三人姉弟雪合戦　小林　光恵
庭園の真白き化粧六花　田辺　嘉子
隣家のご夫婦元気梅紅し　白木由見子
春浅し猫そはそはと甘え声
行き先を決めず下車する桃の里　松田　博信
若草の華やぐ里の遠きかな
末妹の母となる顔寒がはり　辻　貞子
風花や宙掴みをり新生児
日脚伸ぶ石の形に石の影　辻　量子
幾重なる間を解いて山笑ふ
深々と一礼風花のピッチ　厚芝　唯葉
犬なのに冬日をまとふ特等席
春炬燵喧嘩するほど仲の良し　高橋由起子
安産の報せの届く水温む
寒明ける若葉マークは背筋良し　西尾　美喜
輝の父太き親指の先
円窓の大文字山六花　松本美恵子
一本の際立つ葵日水仙
大原の里や壬生菜の粥啜る　上村　公美
格子戸の先も格子戸春灯
風花のグランド五周部活の子　小林　舞桜
隣家より乙女の祈り春の月
葉の中に光っているよ龍の玉　家田　建郎
椿咲く真っ赤と真白帰り道
長生きの四日目の朝雪だるま
校庭はスケートリンク今日の朝

若草の会

大寒や白き化粧の伊吹山　多田　光史
足跡の神経衰弱京の雪　楽田　光恒
風花や一斉に向く野良の猫
残雪の迂回路へゆく下校の子　楽田　光均
うららかやリュックを膝に二人掛け
風花や缶コーヒーの蓋あける　高橋　如音
球根におふとんかける浅き春
渝りたてのベンキの白さ春めきぬ　高橋　和
急ぐ我滑るは京の雪女
滑ぐ先はかきくけ凍る神楽坂　松村　遥
風花や秘めし想ひの背ナを押す
幼児の鳴らす新雪キュッキュッキュッ　伊吹　博人
風花や毬撃の音響し止む　松村　勇輝
風花や海抜五キロからの旅
雪の路地白き宇宙を歩くごと　伊吹　誠彦
吉報に目を輝かす春立つ日
風花のゆるりと落ちる空広し
缶コーヒー悴む指の丸むかな